

東松山ぼたん園の1年



展望台付近のぼたん。展望台からぼたん園が一望できます。



黄色のハイムーン。その後ろには紫色の麟鳳。



ボランティアによる花がら摘みの様子です。ぼたん園ではボランティアが活躍しています。興味のある人は、ぼたん園へ。



例年、ぼたん育て方教室を開催しています。育て方を知りたい人はぜひ参加してみてください。

※花の開花時期・見頃については、天候等で変わる場合があります。



縦じま状に不規則な幅の模様が入る
絞り咲きの島錦。

東松山ぼたん園データ



ぼたんの品種：約150種
 ぼたんの数：約6,500株
 公園面積：約30,000平方メートル
 入園料：無料(ぼたんの開花時期を除く)
 ぼたんの開花時期の入園料 大人：500円(300円)
 ※()は大人20人以上の団体料金
 開園時間：無料期間は終日開放
 有料期間は午前9時～午後5時(入園時間は午後4時30分まで)
 開園年：平成2(1990)年
 所在地：大谷1148-1
 駐車場：無料(普通車：330台/大型車：約5台)
 連絡先：☎81-7607 ☎81-7609
 ※その他詳細はHPをご確認ください。

特集 東松山ぼたん園の1年

春

東松山ぼたん園は平成2(1990)年に市の花「ぼたん」の普及活動の一環として開園しました。開園以来、園内で咲くぼたんが多くの人を魅了してきました。

また、平成28(2016)年から平成29(2017)年にかけて、大型遊具や広い芝生広場、イロハモミジの植栽等の整備を行いました。このことにより、子どもから大人まで幅広い年齢層の人に、年間を通して楽しんでいただけるようになりました。

今回の特集では「東松山ぼたん園の1年」をご紹介します。

4月中旬～5月上旬には、様々な品種のぼたんが咲き誇ります。

ぼたんの花は昔から「花王^{かおう}」や「花神^{かしん}」などと呼ばれ、その豪華さと気品は圧倒的です。ぼたんの花の色は、白色、桃色、赤色、紫色、黒色、黄色などがあり、花の大きさも小輪、中輪、大輪、巨大輪があるなど品種によって多種多様な特性を備えています。

ぼたんの最盛期に様々なイベントを行う「ぼたんまつり」を開催しています。ぼたんまつりが開催される際には、ぼたんを愛する人、イベントに参加する人など多くの人が訪れます。ぼたんまつりについての詳細は広報紙4月号で案内予定です。

1年中遊べる東松山ぼたん園

遊具



児童用遊具の様子。起伏を生かしたダイナミックな遊び場です。



幼児用遊具の様子。初めてでも挑戦しやすい遊び場です。



幼児用遊具で遊ぶ親子。

園内には、児童用遊具(最大利用人数130人)と幼児用遊具(最大利用人数20人)といった市内最大級の遊具があります。

遊具広場は、憩いの場、遊び場となるだけでなく、成長できる場でもあります。遊具にはバランス力、リズム感、想像力が必要なものが多く、それらを養うことができるからです。

子ども連れの人にも人気で、休日には子どもたちのにぎやかな声が聞こえてきます。平日は休日に比べて来園者も少ないため、のどかに時間を過ごすことができます。

花を鑑賞するだけでなく、ぜひ東松山ぼたん園で遊んでみてはいかがでしょうか？

今月のぼたん園イベント情報を17ページに掲載しています。ぜひご確認ください。

その他施設



管理事務所

公園のインフォメーションセンターとして、公園を利用した様々な活動の利用案内を行うとともにぼたん関連の物品販売や遊具等を貸し出しています。スタッフが常駐していますので、お気軽にお立ち寄りください。



マーケットデッキ

休日にキッチンカーの出店や地元の野菜販売などが行われるとともに遊具近くの休憩場所として利用できるマーケットデッキがあります。また、イベントが行われることもあります。



テラス

木漏れ日の中、夏の暑い日でも涼しくゆったりくつろげるテラスがあります。また、テラスでは有料でバーベキュースペースとしての貸し出しも行っており、森の中でのバーベキューを楽しむことができます。

有料で小型テントや自立式ハンモックを貸し出しています。



トイレ

自然光が差し込む清潔なトイレがあります。多機能トイレはオストメイト対応トイレです。また、ベビーベッドも設置しており、幼児用便座や乳幼児用いすは多機能トイレ、女子トイレ、男子トイレにそれぞれ設置されており、子ども連れの人にも安心して利用いただけます。

特集に関する問合せ 都市計画課 ☎63-5001 FAX 24-8857

※花の開花時期・見頃については、天候等で変わる場合があります。

6月上旬〜7月上旬には、アジサイが咲きます。青や白の手毬咲きをする品種や紫の額咲きをする品種のアジサイを見ることが出来ます。梅雨の雨の音、小鳥のさえずりも一緒に聞くことができます。

7月上旬には、七夕飾りが設置され、願いが書かれた短冊が多く飾られます。

7月〜8月には、木々が多い園内や設置してあるミストスポットといった涼を求め、来園する人がいます。また、静かで比較的涼しい早朝に来園する人もいます。そして、学校の夏休み期間中は、いきもの観察会等、子どもと一緒に楽しめるイベントを開催しています。



①梅雨の時期に美しく咲くアジサイ②七夕飾りで短冊を飾る子ども③いきもの観察会で見つけた植物を使ってビンゴを楽しんでいる子どもたち



9月下旬になると園内では様々な広葉樹が色づき始めます。ケヤキ、コナラ、アオハダなどが紅葉し、秋が深まっていく様子を見ることが出来ます。暑さも落ち着くので、パークヨガやハロウィン工作教室など様々なイベントを開催しています。

10月〜12月には、ジュウガツザクラが咲きます。二季咲きのサクラで、寒さが本格的になると花の数が減ってしましますが、春にまた開花します。

11月には、日本スリーデーマーチのコースの一部となっているため、ウォーカーも園内に足を運びます。イロハモミジの紅葉も11月中旬に見頃を迎えます。



①赤く染まったイロハモミジ②秋の日差しの中、芝生広場で自然を感じるパークヨガ③柔らかな色合いのジュウガツザクラ



12月には、クリスマスに関係したイベントを開催しています。

1月には、新春ぼたん展を開催しています。新春ぼたんは特殊な管理により芽の動きを抑制し、秋に露地で春を体験させた後、温度調整をしながら冬に備えるという作業に丸一年費やし、花の少ない冬に咲かせたお正月の縁起物です。

1月〜2月には、園内でロウバイを見ることが出来ます。ろう細工のような美しい黄色い花をつけます。

2月にはバレンタインにちなんだイベント(今月号の裏表紙に掲載)を開催しています。



①令和3年から行っている新春ぼたん展。冬にもぼたんを鑑賞できるおすすめのイベント②クリスマスリースとキャンドルを作る親子③甘い香りも楽しむことができるロウバイ

